

苦しみを和らげる認知症ケア研修 A in 鹿児島

「ごまかし/かわし/すかし/うそをつき/スルーする」これらはすべて、例えば突然「家に帰る！」と立ち歩く認知症の人の「症状」と格闘する現場職員の**苦しみの**対応なのかもしれない。たとえそれでこの場は収まったとしても、これは再び…延々と続く「症状」が**現場スタッフの苦しみ**(疲弊、無意味・空虚)となる。しかしこれら徘徊、物盗られ妄想、帰宅願望、介護拒否、せん妄、抑うつ等の多くは、認知症の人の“思い出せない苦しみ”の現れなのです。その**認知症の人の苦しみを和らげる**ことが、対応困難な症状を落ち着かせ、問題行動も収まることになる。これが“**苦しみを和らげる認知症ケア**”です。そこから見えてくるものは、ごまかしのない真の認知症ケアへの道です。もう、ごまかし、うそをつく必要はありません。苦しみのない真の認知症ケアへの道を探求しましょう。この研修は認知症ケアに悩む援助職にとって、援助の基本的概念を学び、明日からの実践に力が得られる3日間です。**苦しみを和らげる認知症ケア**にぜひご参加ください

内 容 (本ワークショップは4時間×3回=12時間の演習です)

第1日研修

- 1) 主旨説明—本ワークショップの目的、方法の説明
- 2) 対人援助論—認知症の人の苦しみを和らげる援助—
- 3) 援助的コミュニケーション(傾聴)の演習

第2日研修

- 4) “苦しみを和らげる認知症ケア”の理論的解説と傾聴の要点説明
- 5) 雰囲気と関係性の研究(関係の成立・循環性・固有成りから解明)
- 6) 質疑応答:各人の会話記録を比較検討する

第3日研修

- 7) “ふれる”で苦しみを和らげる
- 8) 受講者各自の臨床での“苦しみを和らげる認知症ケア”事例検討

対 象 臨床で認知症高齢者などのケアに携わる福祉・医療専門職等
※新型コロナウイルス感染防止対策として、鹿児島県在住者限定とします

定 員 6名(最少催行人数3名)

日 時 第1日研修:2021年11月14日(日)13:00~17:30
第2日研修:2021年12月6日(日)13:00~17:30
第3日研修:2021年12月26日(日)13:00~17:30
受講には、全3日間の出席が必要です。部分参加はできません。

場 所 社会福祉法人大一会 本部棟会議室
〒895-2526 鹿児島県伊佐市大口宮人 463-133

受講料 28,000円(税込 資料代、会話記録とレポート添削費用を含む)

講 師 坂井 明弘(NPO法人 対人援助・スピリチュアルケア研究会理事・研修講師)

申込方法：ホームページより、受講申し込みフォームにご記入ください。
難しい場合は、受講申込書を事務局にメールでご請求頂き、必要事項
をご記入の上事務局までメールで送信して下さい。
申込みは、申込書を提出された方から先着順とさせていただきます。
受講承認後に、受講費のお振り込みについてご案内します。

NPO 法人 対人援助・スピリチュアルケア研究会 (HP: <http://www.sp-c.org>)

申込先：事務局 E-mail: entry@sp-c.org FAX: 099-833-3051